

基盤整備を契機とした高収益作物の生産拠点化と有機栽培の推進【茨城県常陸大宮市】

ひたちおみやし

食料安保

デジ田

団体営

女性活躍

【工夫のポイント】

- 農地の大区画化と安定した用水利用が可能となり、**高収益作物の生産を地区全域で展開**するとともに、更なる付加価値向上のために**有機農業**にも取り組む。
- 地区内外から**多様な担い手**を確保し**農地の9割以上を担い手に集積・集約化**。
- 高収益作物の生産拡大に伴い、**新たな販路を開拓**するとともに、加工・販売による**6次産業化を開始**。
- 園児による収穫体験や学校給食へ食材を提供する「**食育**」も推進。

【取組地域の概要】

- 位置 ひたちおみやし
茨城県常陸大宮市



- 主要作物
・かんしょ、にんじん、ほうれんそう 等

- 主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業(H20～R2)
・国営かんがい排水事業(H4～)
・国営附帯県営かんがい排水事業(H7～)

基盤

区画整理と畑地かんがい施設の整備による高収益作物の生産拡大

区画整理により、**作業効率が向上する**とともに、畑地かんがい施設を整備したことで、用水を活用して**高収益作物の生産**を拡大。



ねぎも大型機械で収穫可能に



定植時のかん水

基盤整備

(H20年～R2年)

【整備前】

農業従事者の高齢化に加え、**ほ場が不整形**で、**農道も狭小**であることから、**耕作放棄地の増加**が懸念。

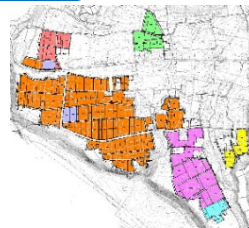


未整備で不整形なほ場

担い手

法人などで多様な担い手を確保

- 事業を契機に地区外からの**法人が参入する**など**多様な担い手**を誘致。(法人3、個人4)
- 農地中間管理機構を活用し、**農地の93%を担い手に集積、集約化も実現(97%)**。
- 法人が、**新規就農希望者を研修生として受け入れ**、新たな担い手の候補を育成。



生産現場

有機栽培などの高収益作物を全域で展開

- 参入した法人が、露地ではかんしょ、ベビーリーフ、施設では葉物野菜などの**有機農業を展開**。
- 有機農産物以外でも、**ねぎやいちごなど高収益作物を生産・拡大**。
- 園児による有機野菜の**収穫体験**や、**学校給食への提供**により、「**食育**」の機会を創出。



施設での有機栽培



ほ場での収穫体験

加工・流通

高収益作物で販路拡大 加工・販売で6次産業化

- かんしょの販路を、**大手食品加工会社との契約取引**で拡大。
- **かんしょを焼き芋、なすを漬物に加工し、道の駅で販売**するなど、**6次産業化**の取組を開始。



焼き芋の店頭販売

陸稲を中心とした営農から高収益作物の生産拠点に

高収益作物の生産拡大に伴い、**地区内産出額が飛躍的に増加**。

作付状況【H19当初】		作付状況【R4現在】	
作物名	面積(ha)	作物名	面積(ha)
陸稲	8.0	かんしょ	11.0
ねぎ	2.0	にんじん	6.5
ごぼう	4.0	ほうれんそう	4.8
なす	3.0	こまつな	3.2
大豆	3.0	いちご	2.7
たばこ	3.0	ねぎ	2.5
うど	2.0	なす	2.3
		ベビーリーフ	1.0
		そば	0.8
計	25.0	計	34.8

有機農業の取組

地区内産出額の推移(推定)

